

FavorPrep™ PCR Clean Up Micro Kit

Cat. No. : FAPC1010 (4 回分) / FAPC1013 (50 回分) / FAPC1014 (100 回分)

本製品は研究用です v 202505

● キットの内容

	FAPC1010 (FAMPK 000B) (4 preps)	FAPC1013 (FAMPK 001B) (50 preps)	FAPC1014 (FAMPK 001-1B) (100 preps)
MP Buffer	1.5 ml × 2	30 ml	60 ml
Wash Buffer (Concentrate)*	1 ml	12.5 ml	22.5 ml
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	5 ml
MP Columns**	4 pcs	10 pcs × 5	10 pcs × 10
Collection Tubes	4 pcs	50 pcs	100 pcs
*添加する 96~100%エタノール量			
Wash Buffer	4 ml	50 ml	90 ml

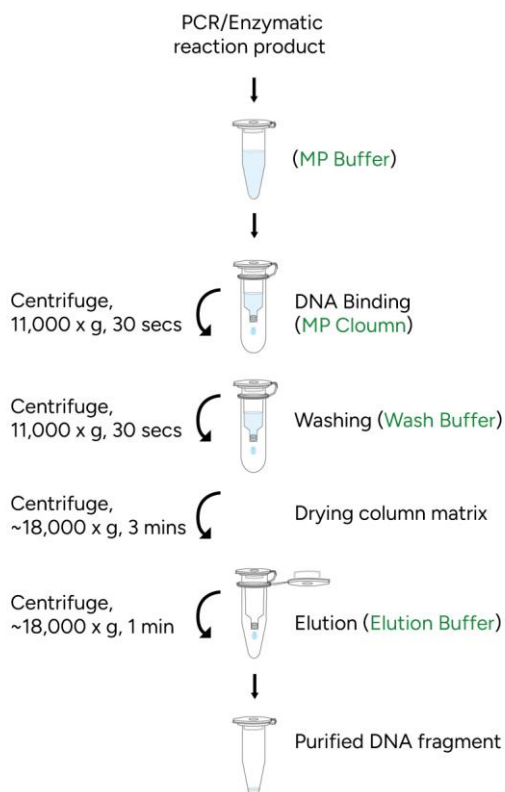
**MP Column はフィルターの劣化防止のため受取後、4~8℃で保存してください。

● 基本情報

構成	スピнкаラム (シリカメンブレン)
結合量	5 µg
サンプル量	PCR 産物: 最大 100 µl
DNA サイズ	65 bp~10 kbp
回収率	80%~90%
操作時間	15 分
最少溶出量	10 µl

● 重要事項

1. 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
2. Wash Buffer は開封時にエタノール (96~100%) を加えてください。
3. 遠心分離は、11,000~18,000 × g で行ってください。



● **操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。**

1. 10～100 μ l の PCR 産物 (酵素反応物) を遠心チューブ (非付属品) に移します。5 倍量の MP Buffer を加え、ボルテックスで混和します。

例) 50 μ l のサンプルに対して 250 μ l の MP Buffer を加える。

- ・ 酵素反応物からの濃縮・精製の場合、サンプル量は最大 100 μ l、DNA 断片は最大 5 μ g です。

2. MP Column を Collection Tube に取り付け、混合液を移します。

3. 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。

4. 600 μ l の Wash Buffer (エタノール添加) を加えます。1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。

- ・ Wash Buffer にエタノール (96～100%) が加えられていることを確認してください。

5. 3 分間遠心分離し、MP Column を乾燥させます。

重要！ このステップで残留液を完全に除去してください。

6. MP Column を新しい遠心チューブ (非付属品) に取り付けます。

7. ≥ 10 μ l の Elution Buffer または ddH₂O (pH 7.0～8.5) を MF Column のメンブレンの中央に加え、2 分間静置します。

重要！ 効率よく溶出するために、Elution Buffer をメンブレンの中央に滴下し、完全に吸着させてください。

10 μ l 以下で溶出しないでください。収量が減少します。

8. 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

- ・ 平均溶出量は 10 μ l の Elution Buffer を使用した場合、9 μ l です。

● **トラブルシューティング**

低収量	
サンプル量が多い	サンプルが 100 μ l を超過する場合は、複数回に分けて処理してください。
DNA の溶出が不十分	Elution Buffer または ddH ₂ O の pH が 7.0～8.5 であることを確認してください。
	遠心分離の前に、Elution Buffer または ddH ₂ O がカラムに完全に吸着したことを確認してください。
DNA 断片が 5 kb より大きい	使用前に Elution Buffer または ddH ₂ O を 60℃ に温めてください。
精製した DNA がその後のアプリケーションで正しく機能しない	
塩が残留している	カラムを Wash Buffer で 2 度洗浄してください。
エタノールが残留している	Wash Buffer で洗浄後、ろ液を捨て、さらに 3 分間遠心分離してください。